



KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

2020年3月期（第93期）
第2四半期決算説明会

2019年11月21日

株式会社 河合楽器製作所

100年ブランド

- 各事業における販売力、製品力、生産力、組織力をさらに深化させてKAWAIのブランド力を高め、収益性と企業価値の飛躍的な向上を目指す。
- 「ピアノでNo.1」を目指し、基幹事業である楽器教育事業の収益力向上を図る。

■基本方針

100年ブランドの構築に向けた成長戦略の推進と、各事業を“深掘り”して成長の為に基盤強化を図る。

■重点戦略

楽器教育事業の収益力向上と事業拡大を目指し、

- ・「販売力」
- ・「製品・サービス力」
- ・「生産力」
- ・「組織力」

をそれぞれ強化・結集させてKAWAIの成長を図る。

■事業戦略

中長期的に重要な事業の展開強化

- ・教育・調律事業の海外展開
- ・素材加工事業



- 2020年3月期 第2四半期 連結業績 P.5
- 2020年3月期 第2四半期 楽器教育事業の概要 P.10
- 2020年3月期 第2四半期 地域別状況 P.19
- 2020年3月期 通期 連結業績計画 P.24

2020年3月期 第2四半期 連結業績

□ 概要

前期比：全事業で増収増益（為替影響 売上高▲4.5億 営業利益▲2.1億）
 計画比：楽器教育(日本・欧州)で販売が伸長、素材加工で堅調に推移

〔単位：億円〕

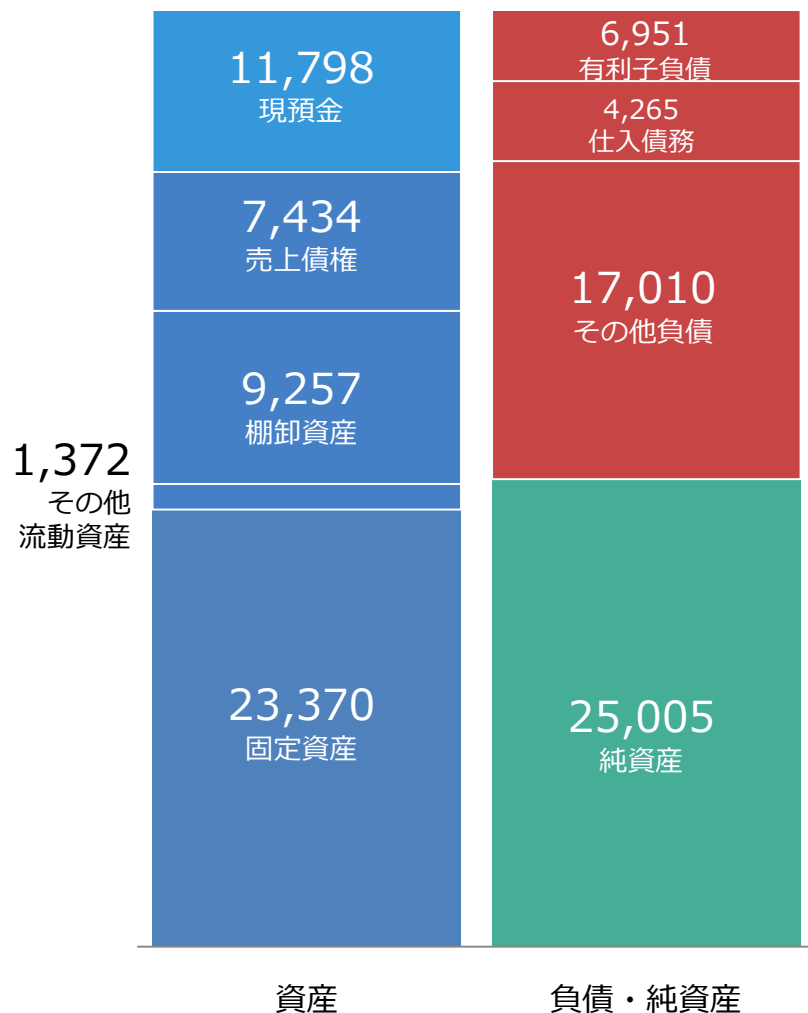
	2019年3月期	2020年3月期		計画 差異	計画比	前期 差異	前期比
	第2四半期実績	第2四半期計画	第2四半期実績				
売上高	353.5	360.0	364.3	+4.3	+1.2%	+10.8	+3.1%
営業利益 (営業利益率)	17.1 (4.8%)	14.0 (3.9%)	19.6 (5.4%)	+5.6	+40.0%	+2.5	+14.6%
経常利益 (経常利益率)	18.8 (5.3%)	13.0 (3.6%)	19.1 (5.2%)	+6.1	+46.9%	+0.3	+1.6%
四半期純利益 (四半期純利益率)	9.1 (2.6%)	7.5 (2.1%)	14.3 (3.9%)	+6.8	+90.7%	+5.2	+57.1%
為替レート							
US\$	108.7円	110.1円	110.1円	+0.0円		+1.4円	
EURO	131.6円	124.3円	124.3円	+0.0円		▲7.3円	

※ 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益です。

2020年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

2019年3月期末 実績

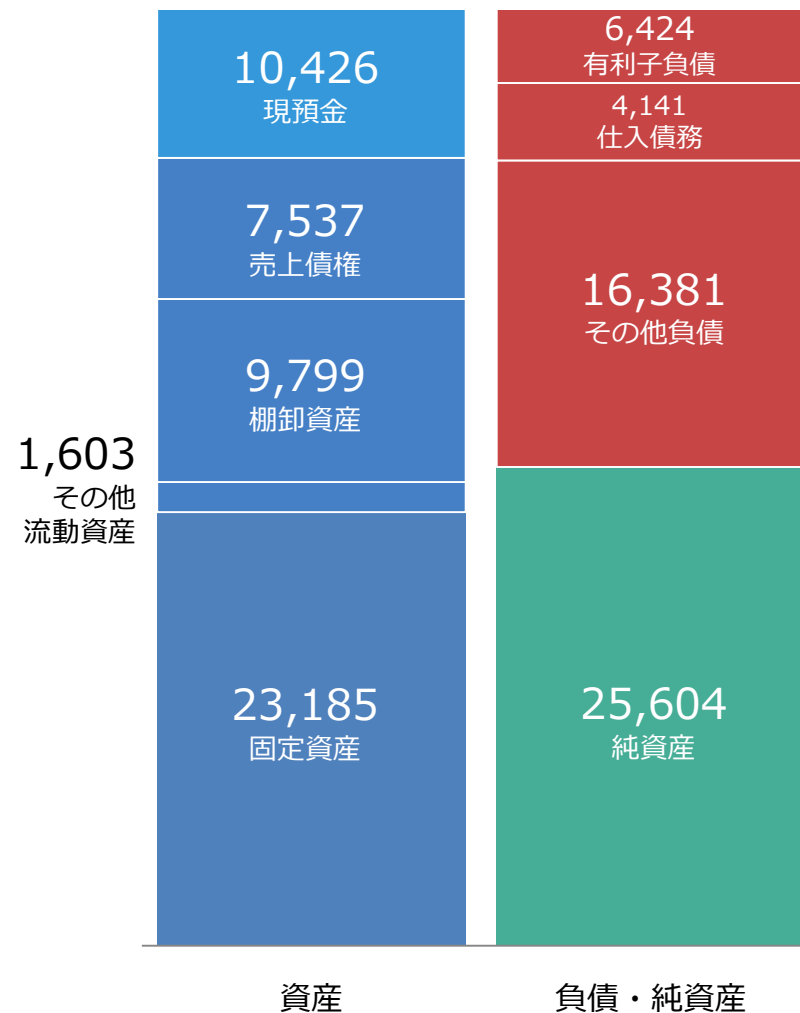
総資産 53,231



2020年3月期 第2四半期実績

総資産 52,550

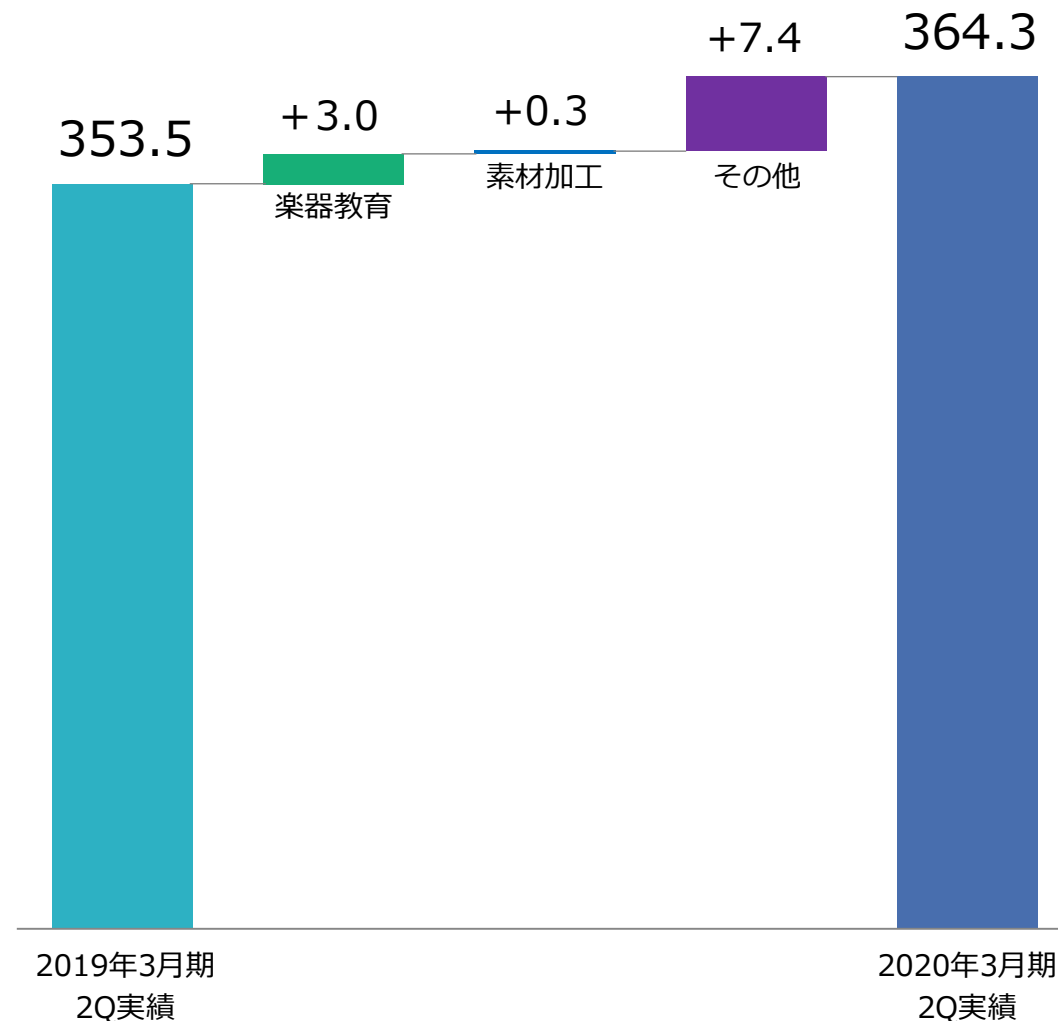
〔単位：百万円〕



□ 売上高

〔単位：億円〕

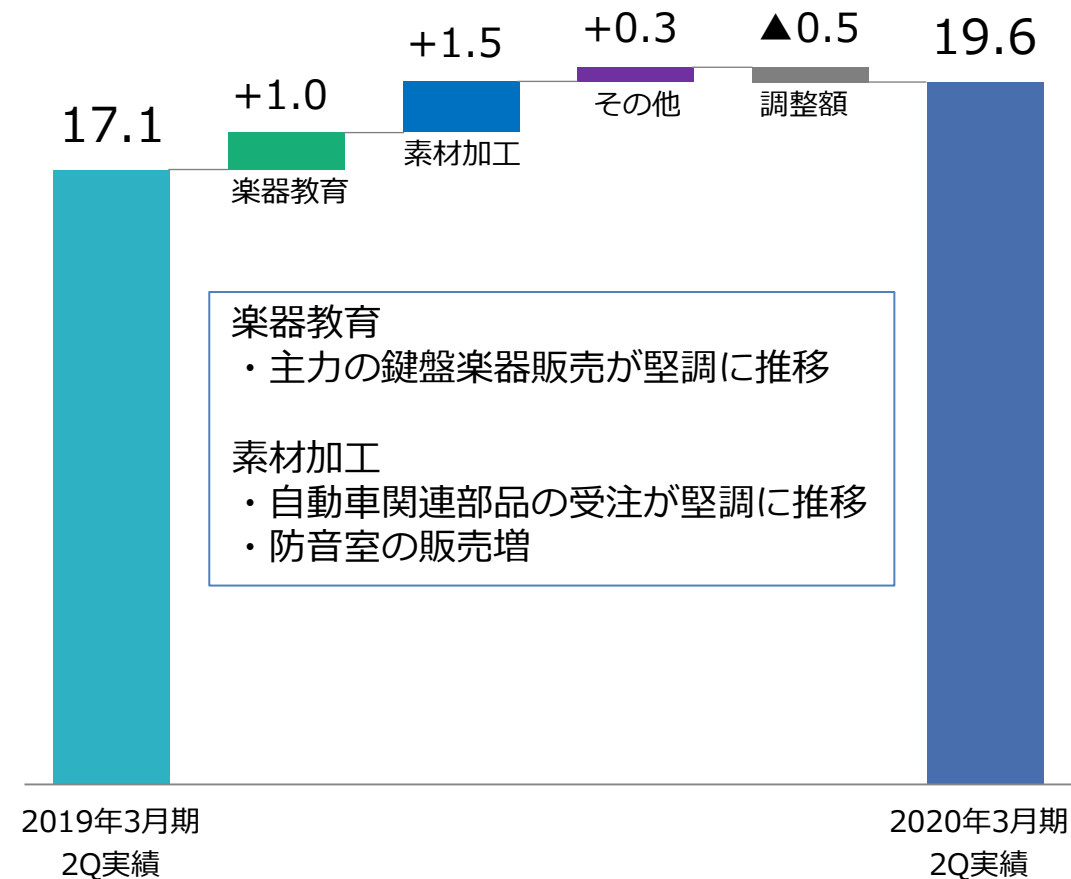
	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前期比
楽器教育	287.7	290.7	+1.0%
素材加工	51.4	51.7	+0.6%
その他	14.3	21.7	+51.7%
合計	353.5	364.3	+3.1%



□ 営業利益

〔単位：億円〕

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前期比
楽器教育	12.6	13.6	+7.9%
素材加工	4.7	6.2	+31.9%
その他	▲0.1	0.2	-
調整額※	0.0	▲0.5	-
合計	17.1	19.6	+14.6%

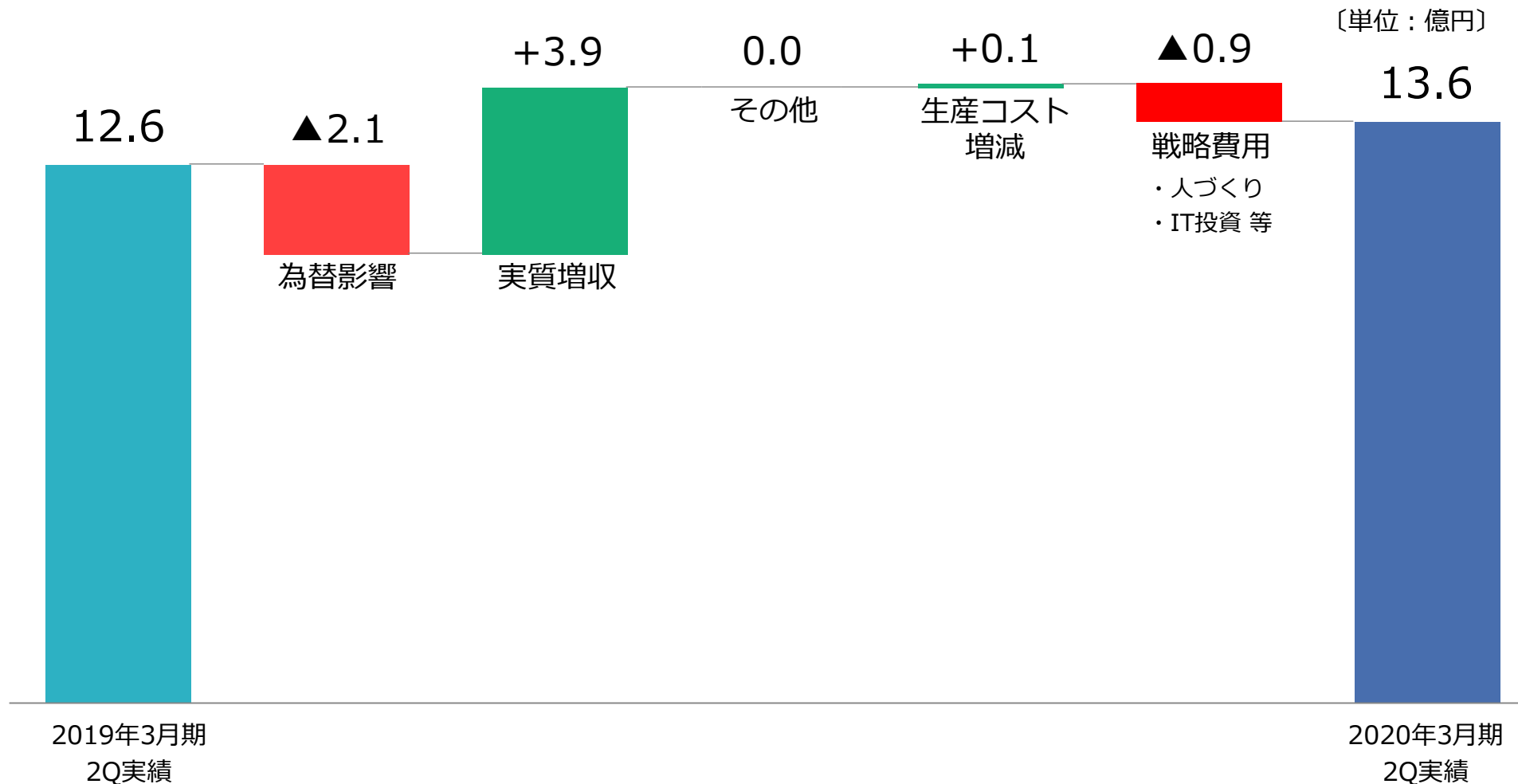


※「調整額」は、セグメント間取引消去、各セグメントに配分しない全社費用です。

2020年3月期 第2四半期 楽器教育事業の概要

□ 楽器教育事業の営業利益の増減要因

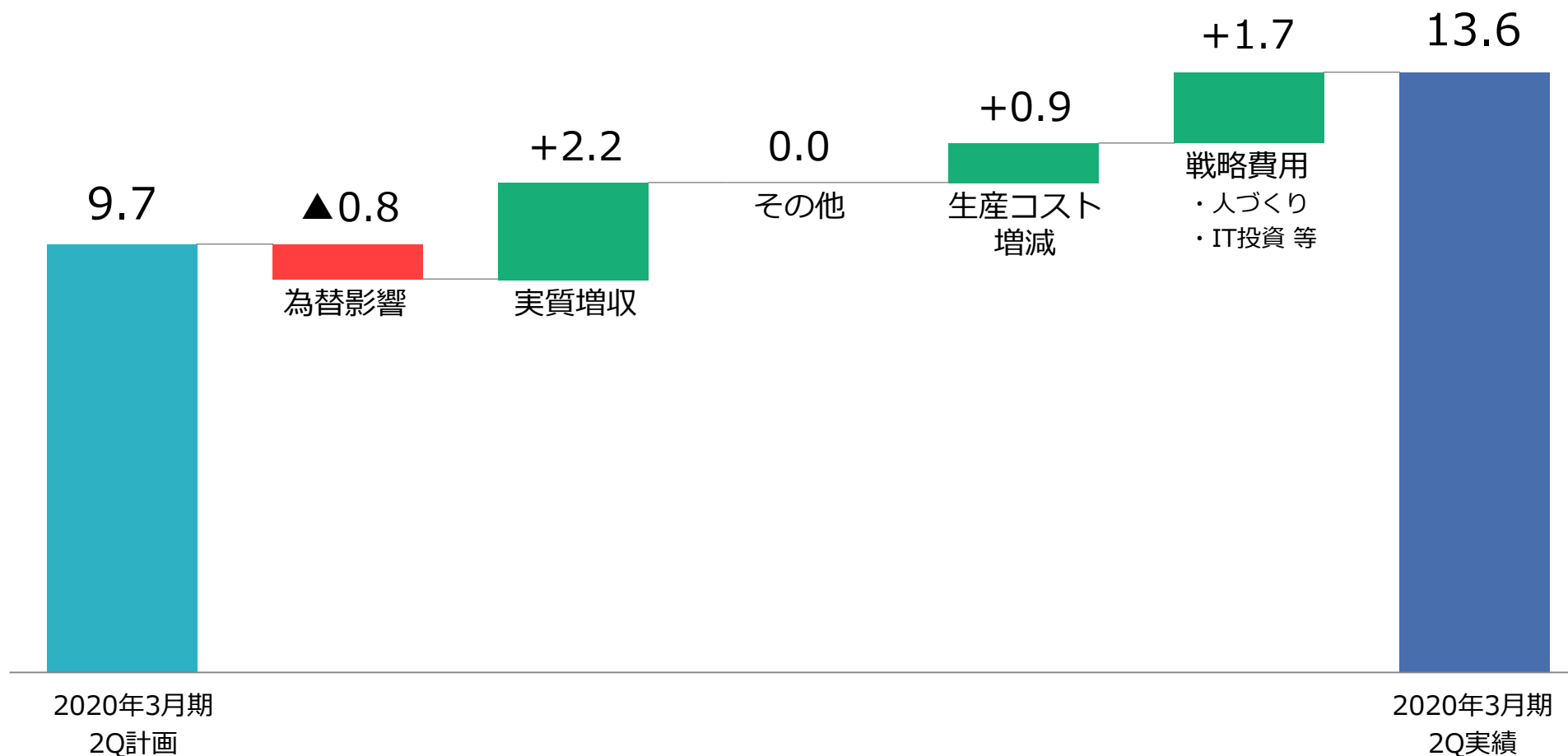
前年比



□ 楽器教育事業の営業利益の増減要因

計画比

〔単位：億円〕



■フラッグシップモデル 『Shigeru Kawai』 が誕生20周年

2019年9月で誕生20周年、更なるピアノの革新の追求へ



■第3回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール 開催

2017年の第1回から3年連続で開催、第3回は世界18の国と地域から234名がエントリー

- ・次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興
- ・『Shigeru Kawai』の国内外への浸透



■ 『Shigeru Kawai』の販売台数 伸び率推移

〔単位：％〕

160

(2015年3月期の販売を100%として)

150

140

130

120

110

100

2015/3
実績

2016/3
実績

2017/3
実績

2018/3
実績

2019/3
実績

2020/3
見通し

2021/3
計画

2022/3
計画



■ハイブリッドデジタルピアノのラインナップ拡充

デジタルとアコースティックの技術を結集した『NOVUS NV10』に続く『NOVUS NV5』を発売

- ・コンパクトなボディにアップライトピアノのアクション機構を搭載
- ・音とタッチにこだわり、場所と時間を選ばないピアノを実現。
アコースティックピアノが遂げるべき進化を真摯に研究した成果やデザイン性が高く評価され、2019年度グッドデザイン賞を受賞。



**GOOD
DESIGN**

NOVUS NV5

■デジタルピアノのベーシックモデルを刷新

タッチ・音・機能にこだわったデジタルピアノ『CN39』、『CN29』を発売

- ・新スピーカー、ノイズと歪みの少ない再生システム、有機ELディスプレイを搭載
- ・多彩な機能により初心者から上級者まで、より充実したピアノライフを提供



CN39R



CN29LO

■ 消音ユニットの新モデル発売

機種を問わずに取り付け可能な消音ユニット『ANYTIME AK-01』を発売

- ・ 取り付け対象外だった一部の古い機種にも取り付け可能
- ・ 周りに気兼ねすることなく毎日の演奏を楽しむなど、更なるピアノライフの充実を提供

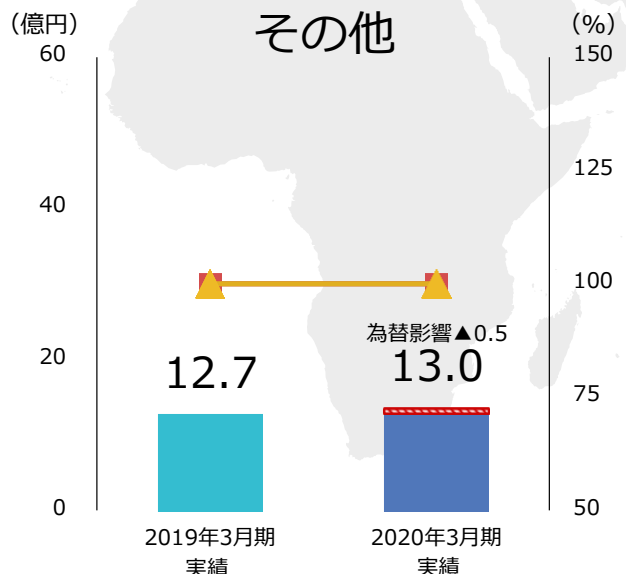
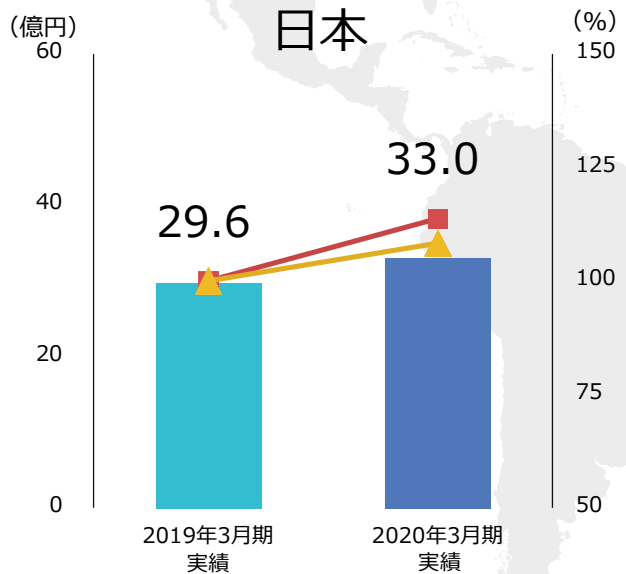
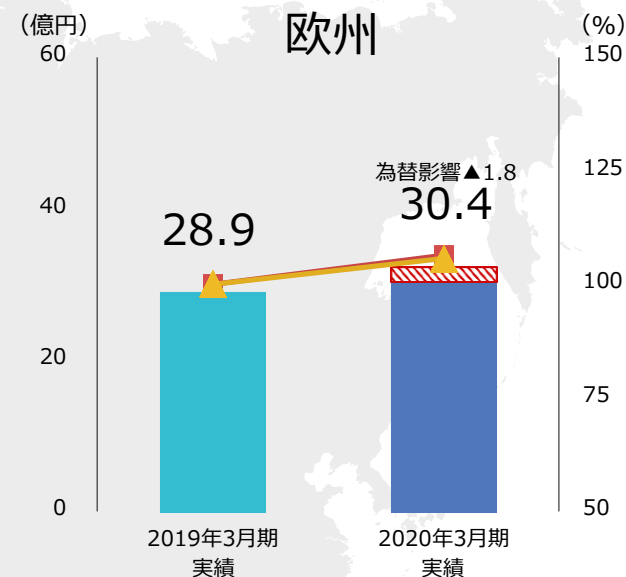
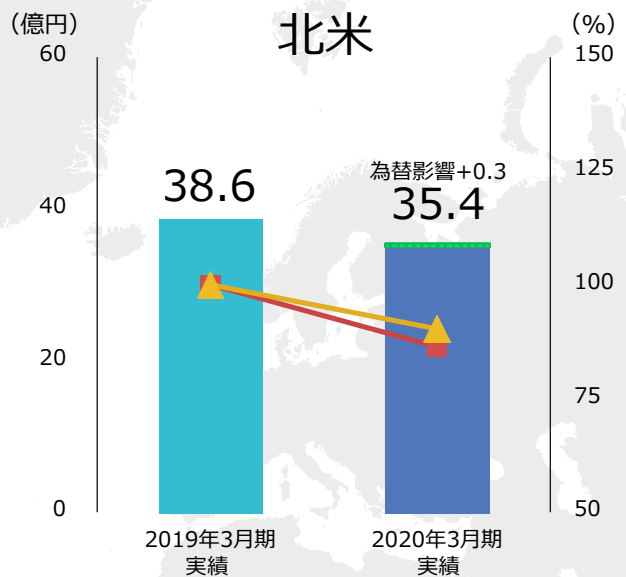
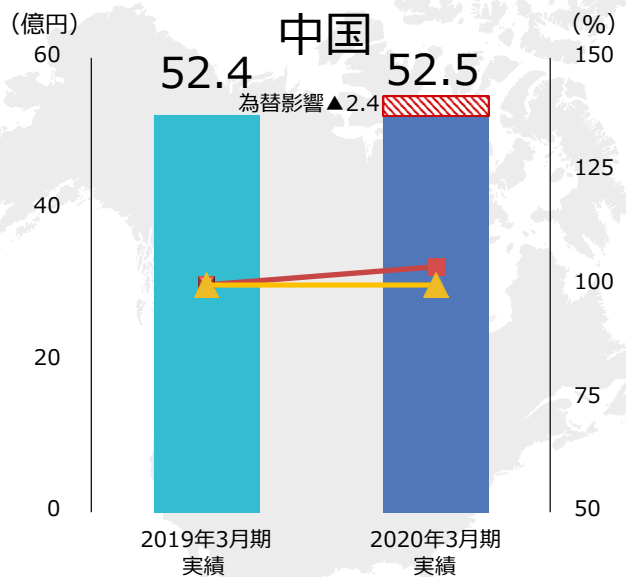


2020年3月期 第2四半期 地域別状況

2020年3月期 第2四半期 鍵盤楽器地域別業績

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。



レート	2019年3月期実績	2020年3月期実績
\$	108.7	110.1
€	131.6	124.3

1円 円高変動での影響度【営業利益】	
\$	+38百万円/通期
€	▲34百万円/通期

■ 中国での鍵盤楽器販売は順調に推移

〔単位：台〕

60,000

50,000

40,000

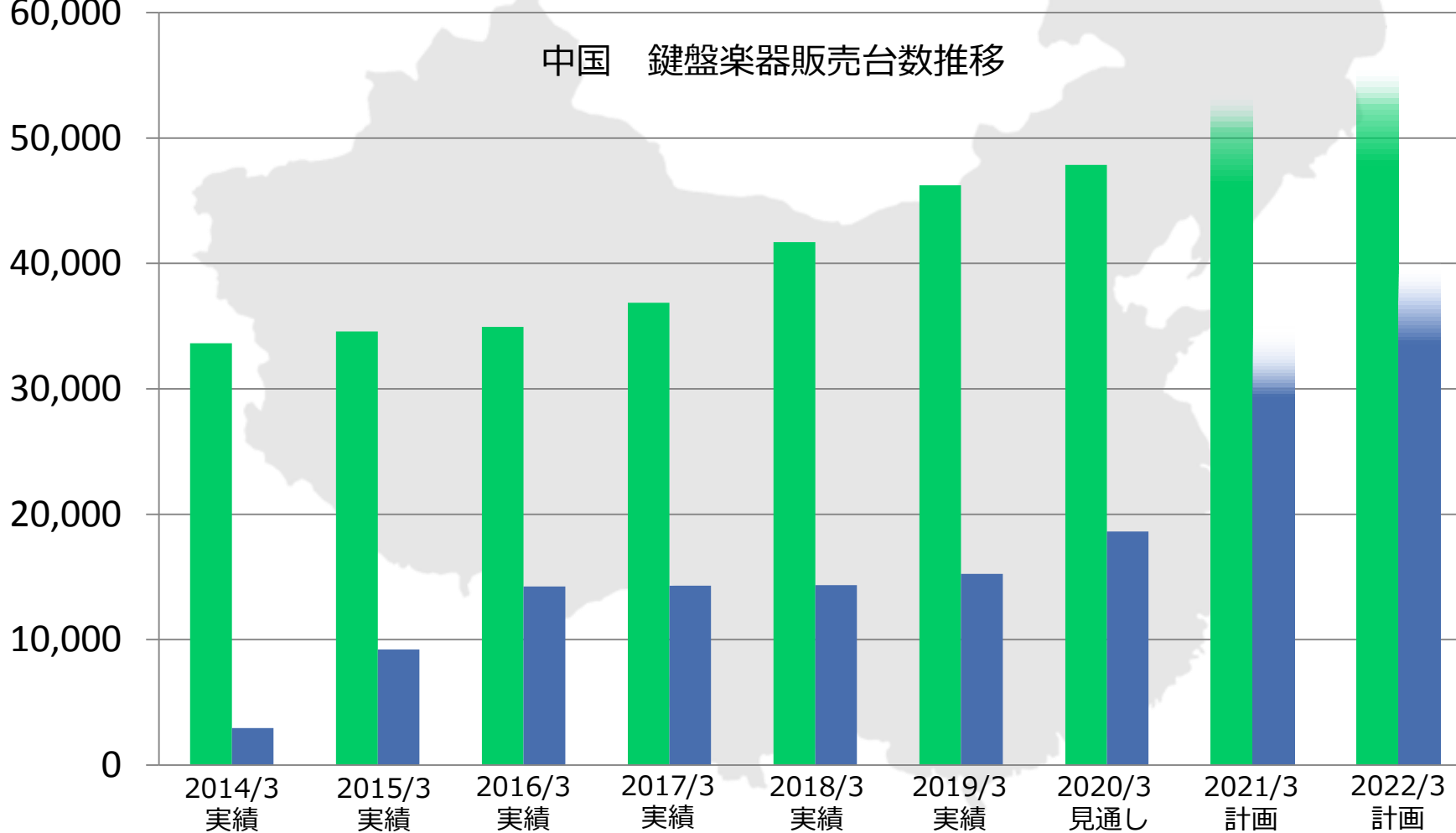
30,000

20,000

10,000

0

中国 鍵盤楽器販売台数推移



■ ピアノ

■ デジタル
ピアノ



■東南アジアでの展開

インドネシアを中心に新興市場での音楽教室を開拓



2020年3月期 通期 連結業績計画

□ 概要 前期比： 増収減益計画（為替影響は、売上高▲12.0億、営業利益▲3.8億）
 計画比： 通期見通しは為替動向等を考慮し、期初計画から据え置き

〔単位：億円〕

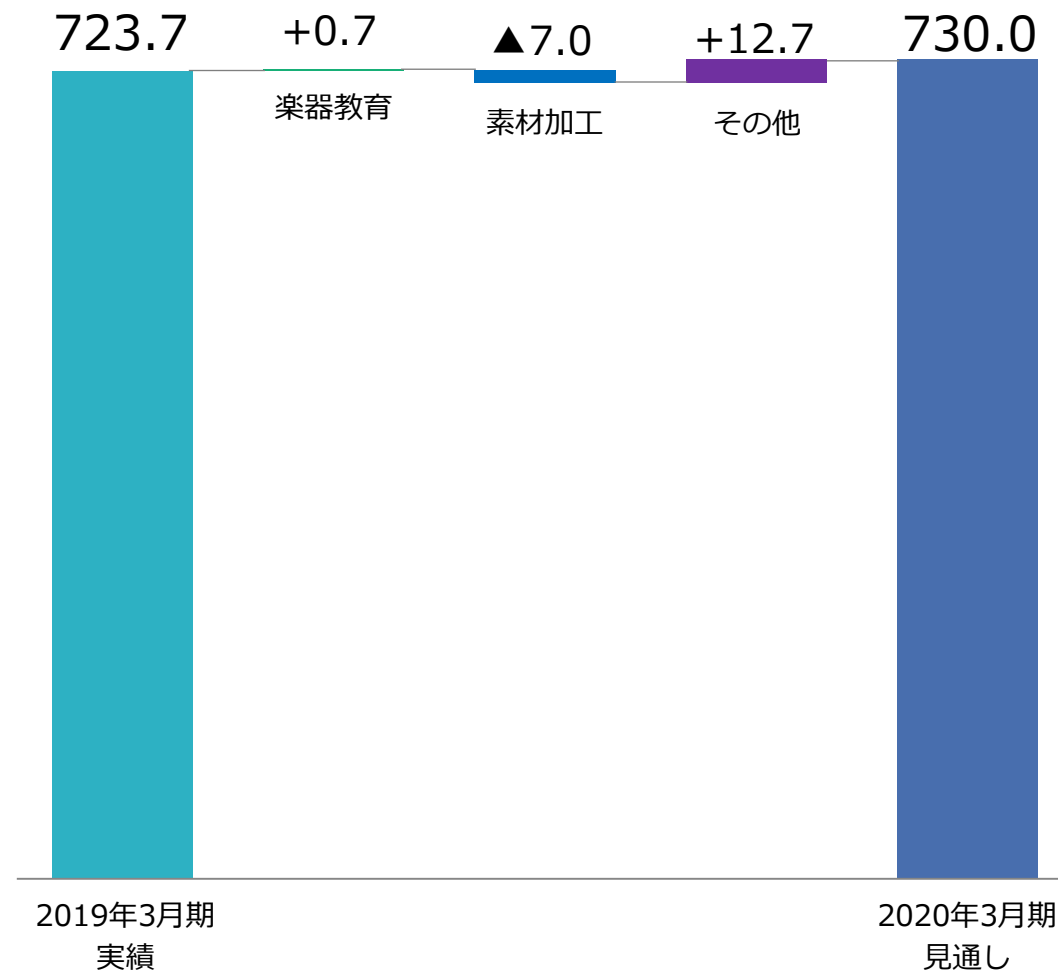
	2019年3月期	2020年3月期		計画 差異	計画比	前期 差異	前期比
	通期実績	期初計画	通期見通し				
売上高	723.7	730.0	730.0	±0.0	±0.0%	+6.3	+0.8%
営業利益 (営業利益率)	36.6 (5.1%)	31.0 (4.2%)	31.0 (4.2%)	±0.0	±0.0%	▲5.6	▲15.3%
経常利益 (経常利益率)	39.1 (5.4%)	31.0 (4.2%)	31.0 (4.2%)	±0.0	±0.0%	▲8.1	▲20.7%
当期純利益 (当期純利益率)	20.1 (2.8%)	19.0 (2.6%)	19.0 (2.6%)	±0.0	±0.0%	▲1.1	▲5.4%
為替レート							
US\$	110.4円	110.0円	108.5円	▲1.5円		▲1.9円	
EURO	130.4円	125.0円	121.0円	▲4.0円		▲9.4円	

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益です。

□ 売上高

〔単位：億円〕

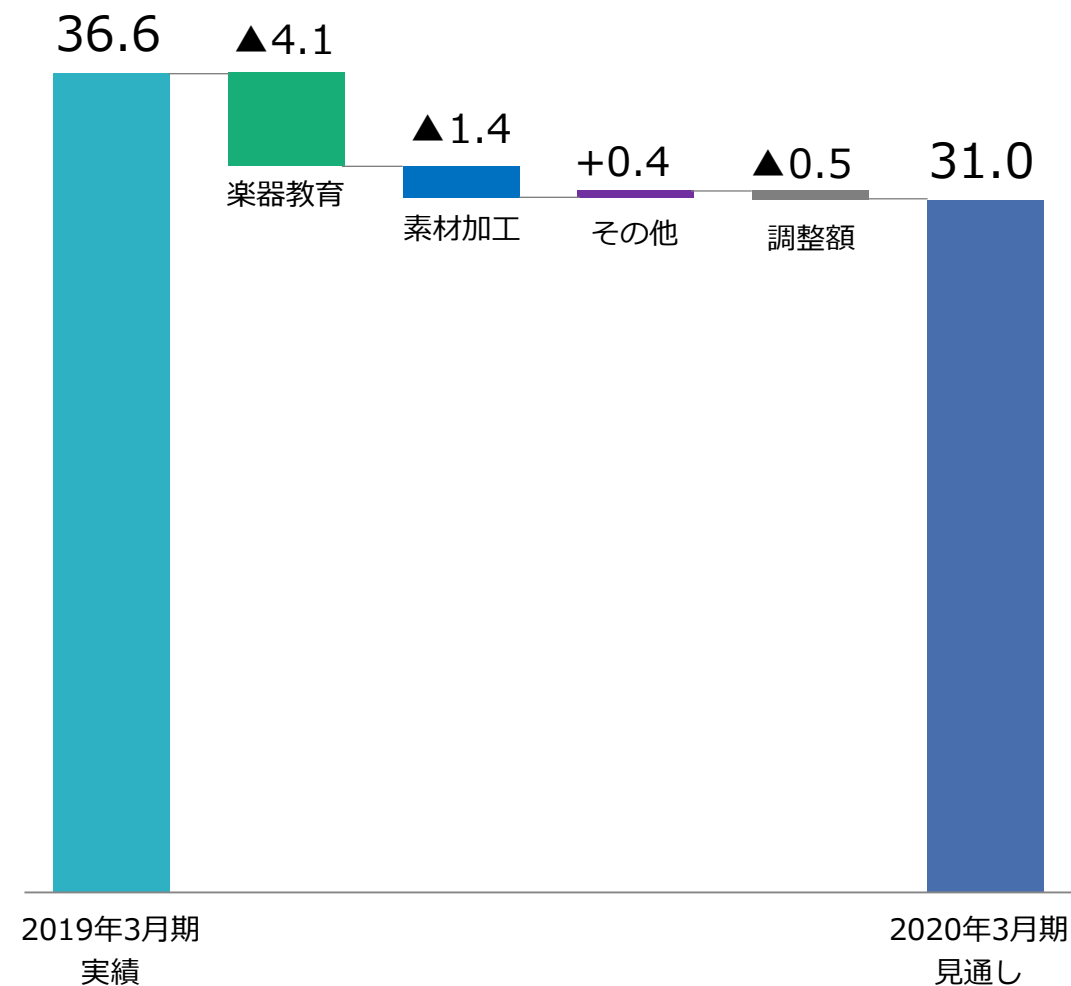
	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期見通し	前期比
楽器教育	585.8	586.5	+0.1%
素材加工	106.0	99.0	▲6.6%
その他	31.8	44.5	+39.9%
合計	723.7	730.0	+0.8%



□ 営業利益

〔単位：億円〕

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期見通し	前期比
楽器教育	25.7	21.6	▲16.0%
素材加工	11.3	9.9	▲12.4%
その他	0.0	0.4	—
調整額※	▲0.4	▲0.9	—
合計	36.6	31.0	▲15.3%

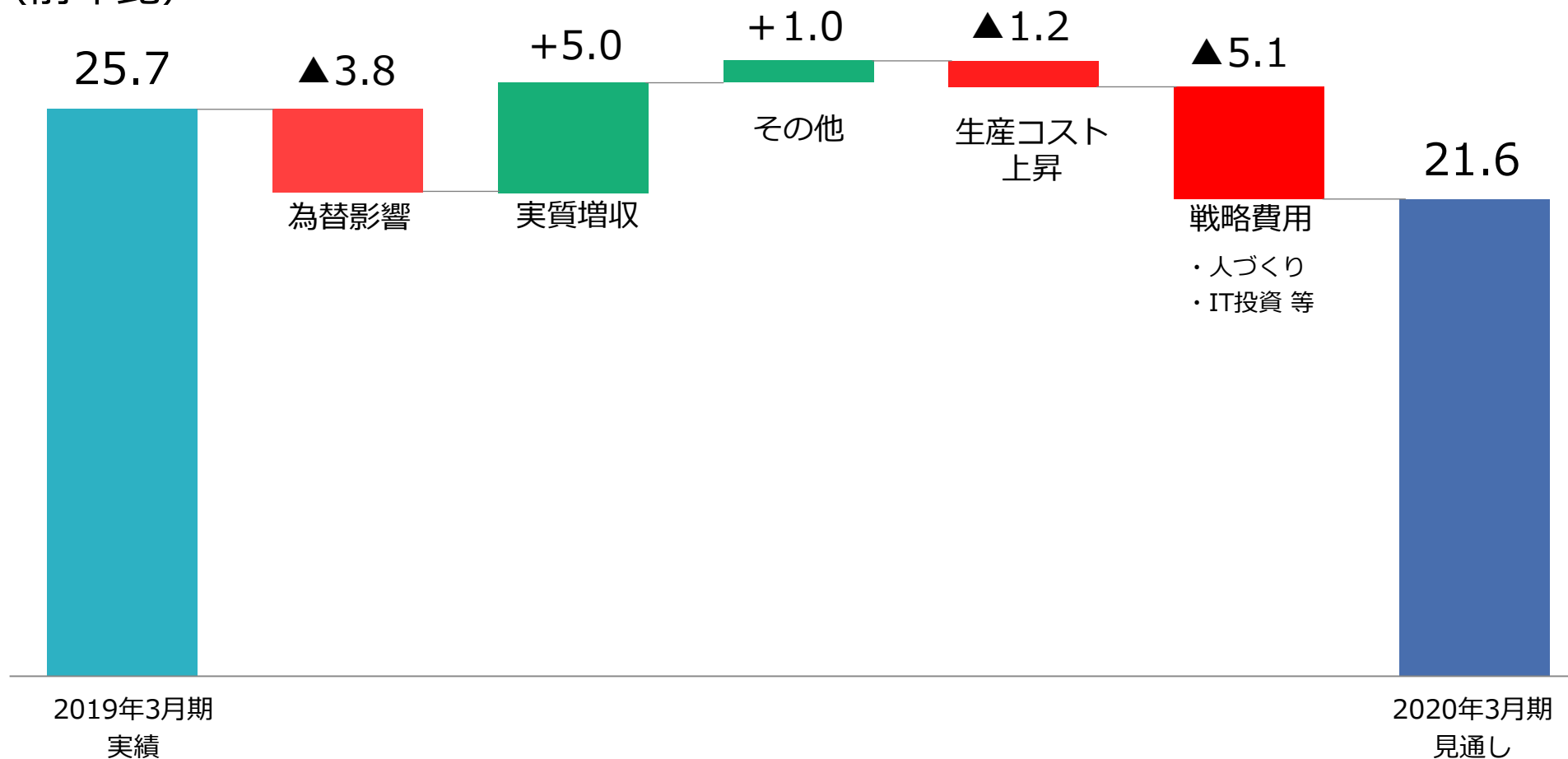


※ 「調整額」は、セグメント間取引消去、各セグメントに配分しない全社費用です。

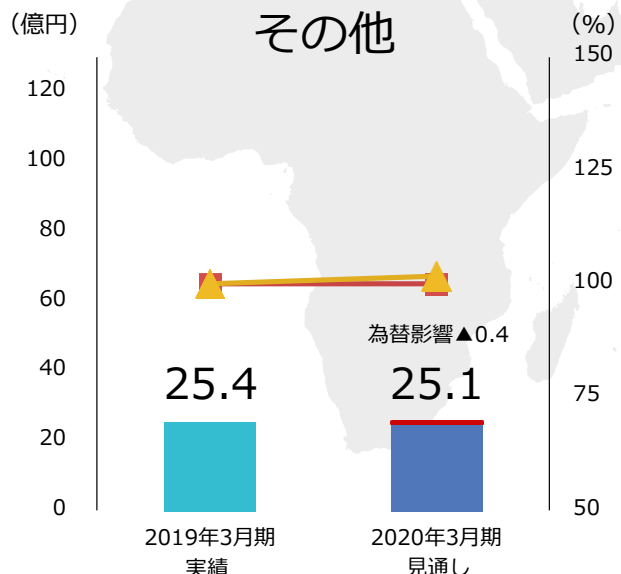
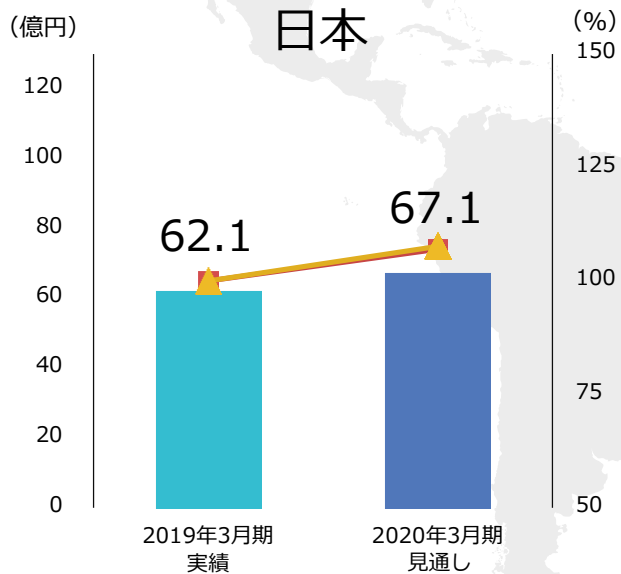
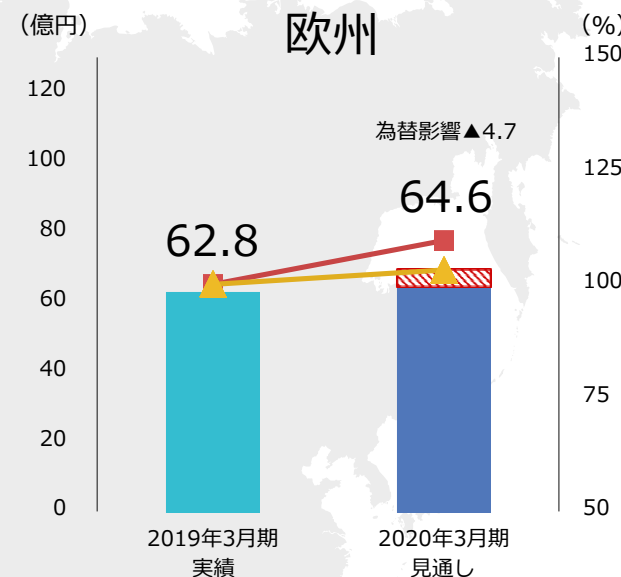
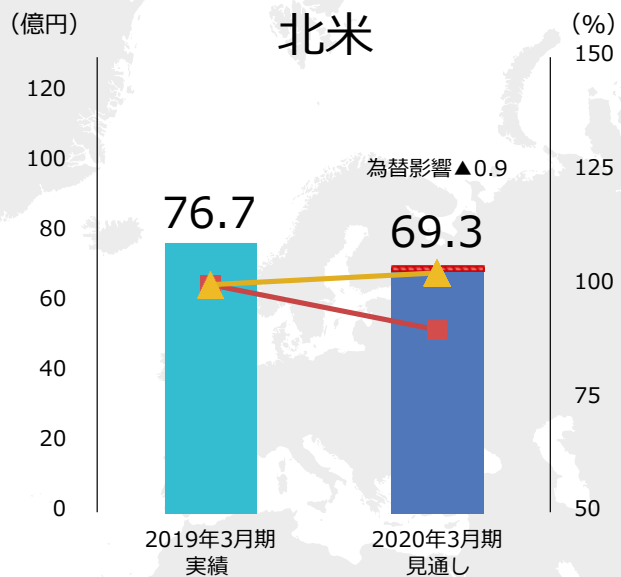
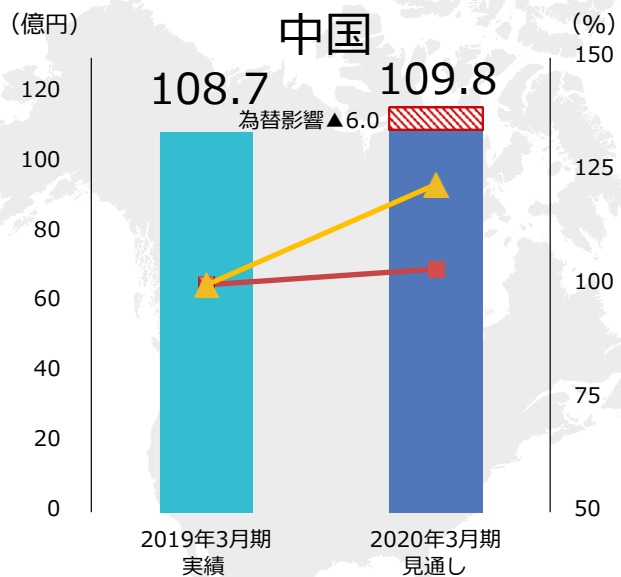
□ 楽器教育事業の営業利益の増減要因

通期計画（前年比）

〔単位：億円〕



2020年3月期 通期 鍵盤楽器地域別業績計画



レート	2019年3月期実績	2020年3月期見通し
\$	110.4	108.5
€	130.4	121.0

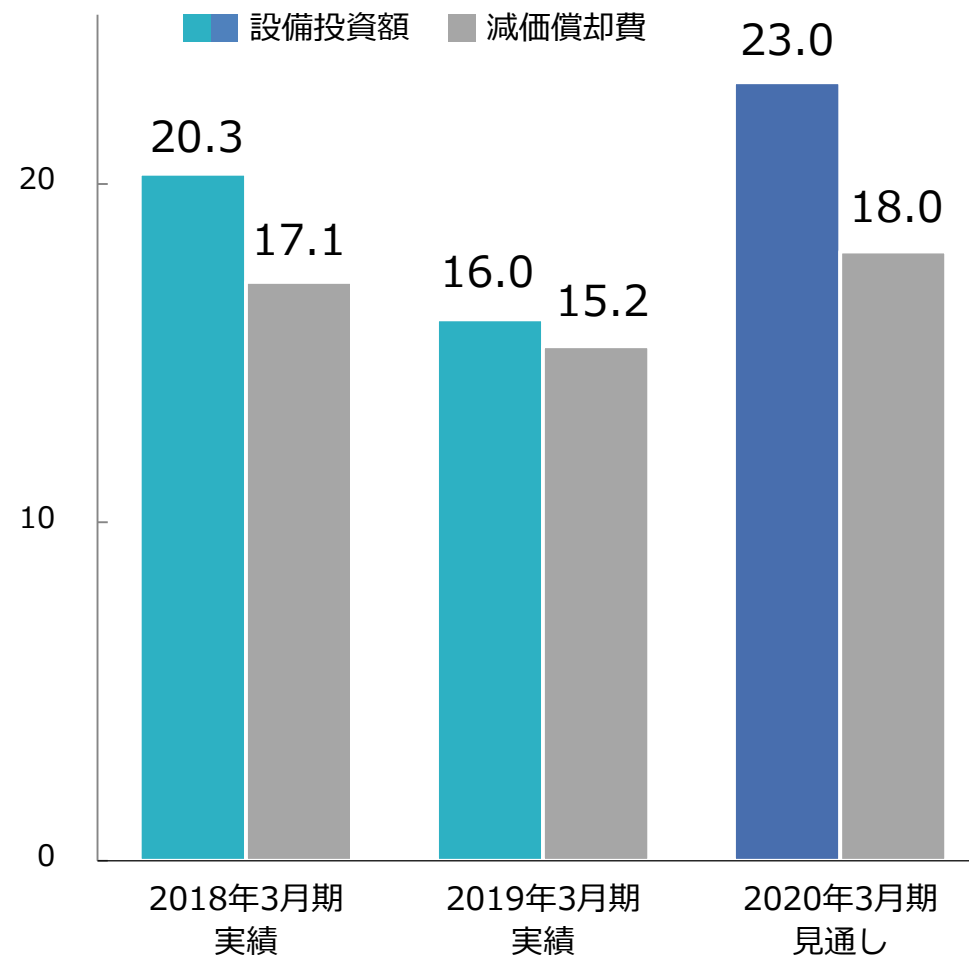
1円 円高変動での影響度【営業利益】	
\$	+40百万円/通期
€	▲33百万円/通期

設備投資計画年間の推移

〔単位：億円〕

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期見通し
楽 器 教 育 生産設備・店舗改装他	10.4	10.7	11.5
素 材 加 工 金属事業生産設備他	4.8	3.6	7.5
そ の 他 情報基盤投資他	5.1	1.7	4.0
合 計	20.3	16.0	23.0

〔単位：億円〕



	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 見通し	2021年3月期 中期経営計画	2022年3月期 中期経営計画
売上高営業利益率	3.5%	3.9%	5.1%	4.2%	4.8%	5.5%
ROE(自己資本利益率)	7.6%	8.6%	8.3%	7.5%	8.3%	9.2%
配当金	50円/株	50円/株	55円/株	55円/株	—	—
総還元性向	27.0%	63.3%*	23.6%	24.9%	30%以上	30%以上

* 2018年3月期は、8億円の自己株式取得を実施

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、販売競争の激化、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。